

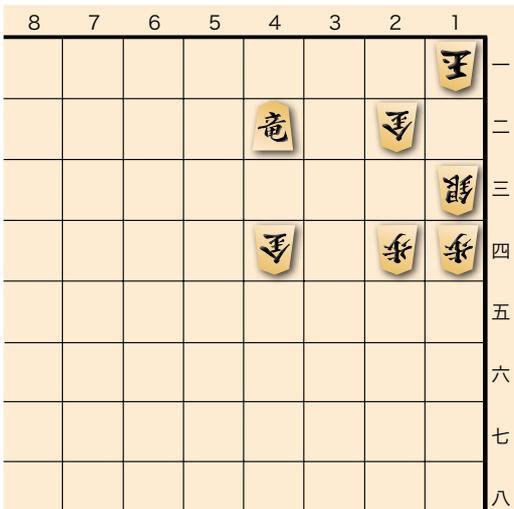
# 次の一手

## 答え合わせ

〈第17局〉

### 詰将棋 問題 7手詰 (5分で初段)

**ヒント** 5手目が急所



持駒 飛角桂

〈監修〉中田功七段

### 詰将棋 答え

▲2三桂▽1二玉▲2一角▽2三玉▲3三飛  
▽同金▲1二角成または不成までの7手詰め

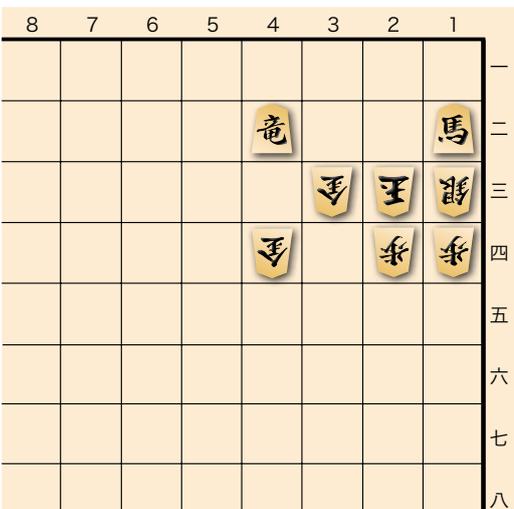
### 中田 功 (なかた・いさお)

1967年7月27日生まれ。福岡市出身。

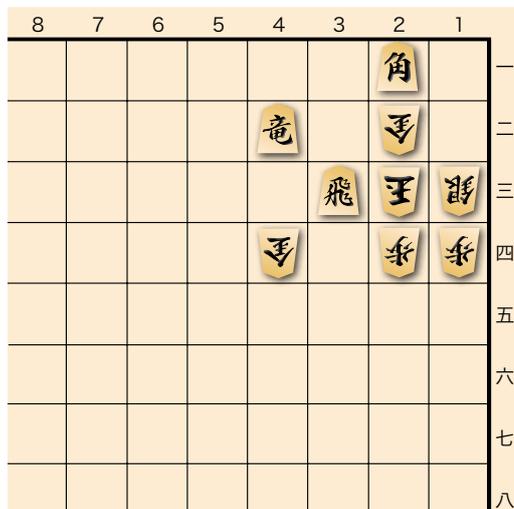
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



### 詰め上がり図 (▲1二角成まで)



### 途中図 (▲3三飛まで)



持駒 なし

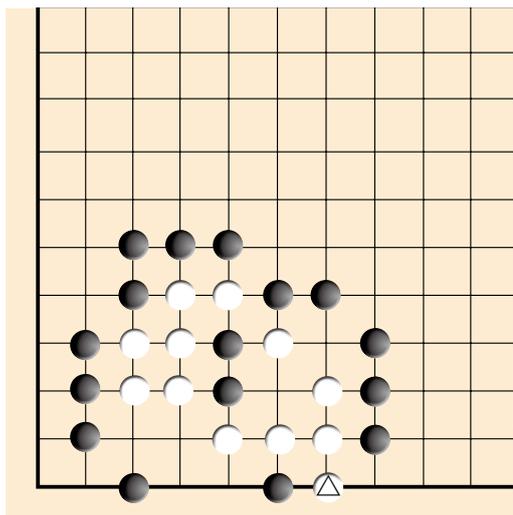
(解説) ▲3三飛が手筋。

竜の利きを通して ▲1二角成を可能にする

## 詰碁 問題 黒先白死 (5分で初段)

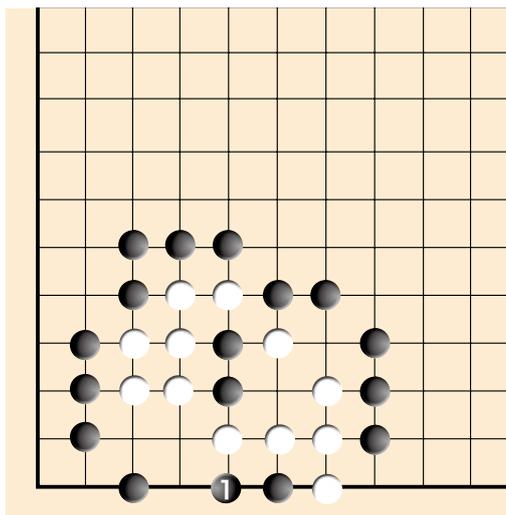
### ヒント

古典名作の手筋です。△と打ち「生きた」かに見えましたが…次なる妙手が白一団をフリーズさせてしまうのです。



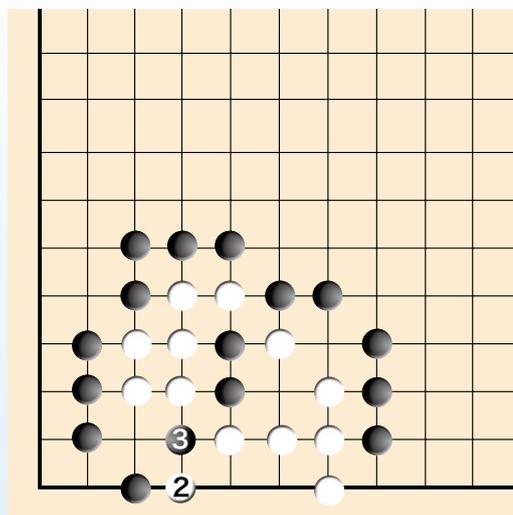
〈監修〉大淵盛人九段

## 詰碁 正解図①



碁を覚えたばかりの初心者でも、打ちそうにない、逃げられない石を逃げる黒1。当然白は、取ります!!

## 詰碁 正解図②



白2と黒二子を取った(取らされた…)瞬間に、黒3がウツテガエシの形を活かした手筋です。よ〜くご覧下さい、白は3の石が取れず…御用となりました!

## 大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

